

ゆいゆい通信

NO. 18
平成29年 3月号
NPO法人 癒居



加古川市尾上町養田 1436-5
(TEL: 079-490-4165)
<http://yui-2011.jimdo.com/>
E-mail: yui2011@honey.ocn.ne.jp

3月に入り、日差しが暖かくなってまいりました。今年も癒居の庭には土筆が芽を出しています。春の訪れをほっこりとした気持ちで感じています。

さて、今年度はNPO法人癒居設立5周年という節目の年でした。5年前、加古川市内で初めての事業である「ホームホスピス」を開業しました。運営面で、不安一杯の船出でしたが、5年間試行錯誤しながら、事業を続けることができました。初めてのもの（ホームホスピス）でも、良いものは良いと選んでくださった利用者さん・ご家族の方々、私たちの取り組みを広報・紹介してくださった皆様、癒居で一緒に働いて下さった仲間たちなど、ご支援をいただいた全ての皆様に感謝申し上げます。この度、5周年を記念してパンフレットを一新いたしました。どうぞご覧ください。今後も初心を忘れず利用者様に喜んでいただける援助を目指して努力いたしますので、変わらぬご支援をよろしく願いいたします。



故郷訪問

2月28日、利用者さんの「私、故郷に帰りたいのよ!」を実現、田畑はまだ雪の中でした。利用者さん・息子さん・職員2人と故郷を訪問しました。

母にとっては10年ぶりの帰省となりました。田舎では母の弟夫婦が、待っていてくれました。ふだん、いろいろとしてやりたいと思っても、できていないので、今回、母が喜んでくれることが出来たので僕も嬉しくて気持ちが楽になりました。息子様より



あら、そうなの

幼なじみの現況を聞き、瞳が輝いていました。

養父市にて

忘年会



昨年12月20日利用者さんと職員と総勢13人の忘年会を行いました。癒居のリビングははちきれそうになりました。病気も体重も気にせず、みんなでよく食べました。今年のくじ引き商品に初めて宝くじがありました。当たっても報告しなくてよいことになっていましたが、誰か当たったのかなあ……。





優しい心とつながって癒居は元気です。



新しいボランティアの紹介

ボランティアさん募集中

絵手紙

「私、習字を書きたいのよ」と言われる利用者さんがおられ、ボランティアの方を探しておりましたところ、カコム（私たちのような NPO 法人を支援して下さる NPO 法人）の紹介でご近所の米田さんが「私で良かったら行きましょうか」と言って昨年 12 月から来てくださるようになりました。米田さんは絵手紙の先生をしておられて、字だけではなく絵も半紙に描きます。先日は椎茸を描いてあまりに上手に描いたので「おいしそうやなあ、焼き椎茸が食べたいな」と利用者さんに言われて、急遽献立を変更してみんなで焼き椎茸を食べました。



あーおいし満足満足。

美容室



昨年の 11 月から若い美容師さんが来てくださっています。実はこの方、癒居のお隣の家のお嬢様平嶋三栄子さんです。嫁がれて 2 児の母。大阪にお住まいですが、時々実家に帰ってこられて、その度にお子さまを連れて癒居を訪問して下さっていました「2~3 か月に 1 回ならいいですよ」と快く引き受けて頂き、この日は癒居のリビングは美容室に変わります。「どんな髪型にしますか？」と優しく聞いてもらい皆さん、華やいだ気分です。

大きな助っ人薬剤師さん（訪問薬剤管理指導）

昨年夏より、当事業所では利用者さんに介護保険制度の訪問薬剤管理指導のサービスを受けて頂くようになりました。

地域包括南の薬剤学習会で、講師をされていた薬剤師さんとの出会いが発端ですが、薬をお医者様に出してもらったがどのように服用したらよいかわからない、残薬が多い、副作用と飲み合わせの心配などを薬剤師さんが家を訪問して解決して下さるサービスです。ホームホスピス癒居では複雑な緩和ケアの薬についても学習会を開き、薬剤知識の習得、薬の効果の評価、適切に服用するためのアドバイスなどを受けて大変助かっています。



薬の学習会

・・・居宅介護支援事業所 癒居・・・

初詣

1 月 3 日今年も初詣に尾上神社に行きました。神様に何をお祈りされたのか？



それは内緒！



誕生会



おめで鯛!!



新人の紹介

面接の時、入所の皆さんの顔を見て、生き生きとした笑顔に驚かされました。見慣れない顔のせいか最初はコールが多く、大変だなあと思い、続くのか心配でしたが何度か勤務に入ると、顔を覚えて笑顔の挨拶で迎えてくださるようになり、年上の先輩方に可愛らしいは・・失礼ですが本当に可愛らしい方々に巡り合えて良かったと思います。五十を過ぎ体力的にも大変ですが頑張っていきたいと思えます。

米田